

IoT機器調査及び利用者への注意喚起の実施状況（2020年8月度）

- ▶ 参加手続きが完了している**ISP**（インターネット・サービス・プロバイダ）は**62社**。
当該ISPの約**1.1億IPアドレス**に対して調査を実施。
- ▶ **NOTICE**による注意喚起は、**309件**の**対象を検知**しISPへ通知。
- ▶ **NICTER**による注意喚起は、**1日平均700件**の**対象を検知**しISPへ通知。

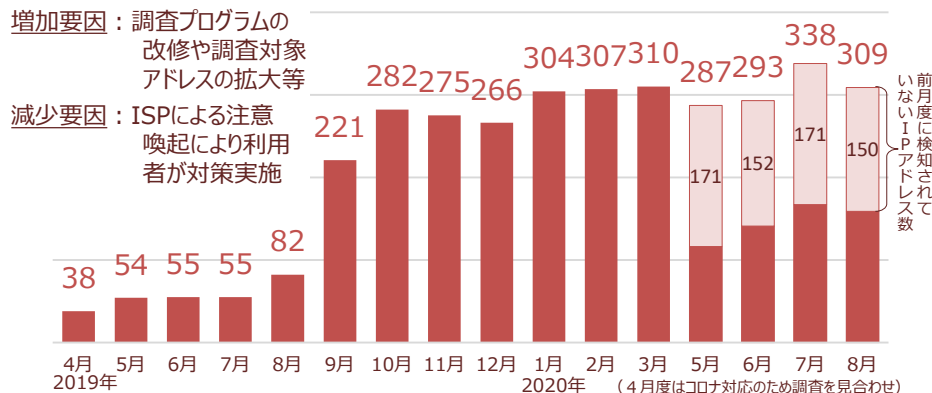
NOTICE注意喚起の取組結果

注意喚起対象としてISPへ通知したもの*

309件（7月度:338件）

（参考）2020年度の累積件数：1,227件（2019年度：2,249件）
ID・パスワードが入力可能だったもの：12.3万件

* 特定のID・パスワードによりログインできるかという調査をおおむね月に1回実施し、ログインでき、注意喚起対象となったもの（ユニークIPアドレス数）



NICTER注意喚起※の取組結果

※マルウェアに感染しているIoT機器の利用者への注意喚起

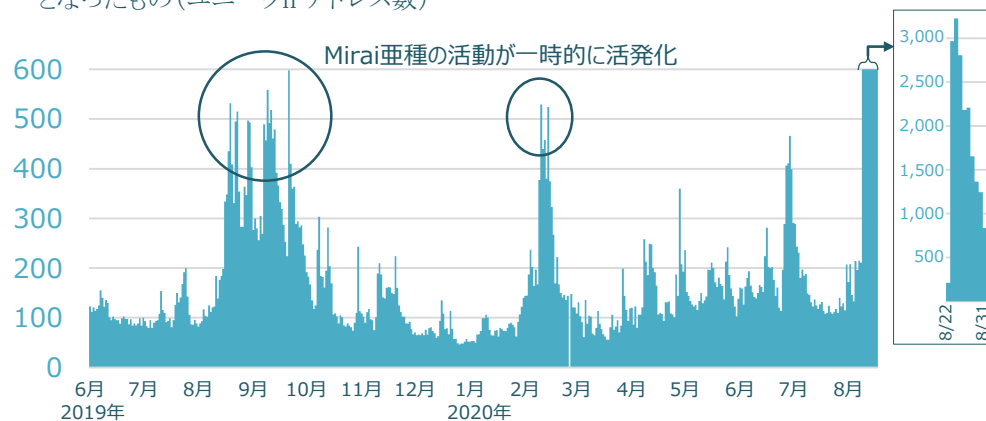
注意喚起対象としてISPへ通知したもの**

1日平均700件（7月度:209件）

（参考）期間全体での値：1日平均201件
最小：46件(2020/1/9)／最大：3,227件(2020/8/24)

※前月度と大きく差が生じた理由については、本ページ下部の総括コメントを参照

** NICTERプロジェクトによりマルウェアに感染していることが検知され、注意喚起対象となったもの（ユニークIPアドレス数）



2020年8月度分については、NOTICE注意喚起については大きな変化はありません。

NICTER注意喚起については8月末頃に大幅に増加しているように見受けられますが、これは、一部のISPの一部の利用者においてIPアドレスが頻りに切り替わったためユニークIPアドレス数が増加したことが主因であり、全体的なマルウェア活動の活発化を直接示すものではないと推定しています。